

大村車両基地の完成記念式典と見学会が開催されました

(令和4年3月19、20日)

令和4年3月19日と20日の2日間、大村車両基地の見学会が開催されましたのでご紹介いたします。

大村市竹松町に建設された大村車両基地は、西九州新幹線で走行する新幹線車両の日常的な整備・点検を行うための施設で、西九州新幹線において唯一の車両基地となります。

今回、大村車両基地が完成したことに伴い、完成記念式典と車両基地内の見学会が行われました。

19日の午前中に、完成記念式典が行われ、主催者である鉄道・運輸機構の河内隆理事長、JR九州の青柳俊彦社長と、来賓を代表して大石賢吾長崎県知事、園田裕史大村市長のあいさつがあり、その後、完成を祝してテープカットが行われました。

式典終了後には、式典出席者による車両基地と令和4年1月に基地に搬入された新幹線車両「かもめ」の見学が行われました。



大石賢吾長崎県知事



園田裕史大村市長



テープカット

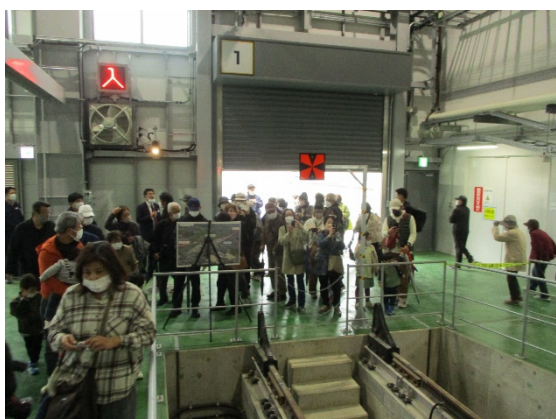


基地建物内を見学する様子

19日の午後からは、約500人が参加した鉄道・運輸機構主催による沿線自治体住民等の見学会と、約600人の参加となった大村市主催による大村市民向けの見学会が実施されました。

見学会では、鉄道・運輸機構の職員から、建物内に設置されている車両の整備・点検を行う機械設備についての説明が行われ、走行試験に向けて整備が行われている新幹線車両を間近に見ることもできました。

また、新幹線車内が初めて一般の方へ公開され、実際に車内に入り新車の真新しい香りを感じながら、シートの座り心地を確かめたり、JR九州の職員から指定席と自由席の違いの説明を受けたりなど、一足先に車内の雰囲気を楽しんでいました。



基地建物内を見学する様子



新幹線車両を見学する様子



新幹線車内を見学する様子



車両をバックにした撮影スポットの様子

翌20日には、約2,600人の参加となったJR九州主催による一般向けの見学会が行われました。

見学会は、地元の園児による出発式が行われ、園児の元気な「出発進行」の掛け声により始まりました。

見学会は前日と同様の内容で行われ、参加者の中には新幹線車両の座席を向かい合わせにして座る方もおられ、新幹線での旅行を想像しながら楽しそうな様子で、令和4年9月23日の新幹線開業を心待ちにされていました。



地元園児による出発式の様子



基地建物内を見学する様子



新幹線車内を見学する様子

なお、市民向けと一般向けの見学会は、それぞれ定員の約 10 倍の応募があり、皆様の関心の高さがうかがえるものとなりました。

また、西九州新幹線関連グッズや、JR九州が現在実施している「スイーツグランプリ in 佐賀・長崎」、「九州駅弁グランプリ in 佐賀・長崎」にエントリーしている商品の販売も行われ、こちらも多くの方が訪れ賑わいをみせていました。



販売会場の様子